

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 大和園平和		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・内容に応じて部屋を分けて支援しています。	・宿題をするスペースがあるととっても良いと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		・長期休みで1日利用の時、職員が足りないと感じる時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・気持ちを落ち着ける場所として一人で入れる部屋や空間を用意しています。	・静かに宿題をしたいと思う子どもが個別で取り組める場所を用意できればと感じます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・朝のケース会議で状況を話し合えるので良いです。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・毎月勉強会を行っています。（8月は除く）		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・HPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・子どもが興味を持てるようなあそびの提供をしていると感じます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・祝日、長期休みなどはそれぞれ担当を決め、子どもたちと一緒に内容や準備物などを考えています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎週のおそびの時間（わくわくタイム）を 考え、みんなが色々なおそびができるように しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・祝日や長期休みはクッキングやイベント等 の集団活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	その日行われた支援の振り返りは当日はない が、毎朝ケース会議を行い気付いた点等共有 しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	9			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	9				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	8		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	6	3		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		9	・対象児がいません	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。		9	・対象児がいません	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9	・地域に児童発達支援センターがないため、 スーパーバイズを受ける機会はありません が、必要に応じて相談支援専門員と連絡を取 り合い相談等を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	2	7	・対象児がいません	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	・事業所連絡会に可能な限り参加していま す。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	9			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	4	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・保護者会の予定はしており、お知らせしていますが、参加者が少なく開催できていません。利用者全員ではないですが、プチカフェを開催した際はきょうだい児も参加されたご家族もあり、きょうだい児同士交流する場面も見受けられました。	・保護者の方に参加したいなど思っていたいただけるような内容を今後検討していきたいと思っています。 ・きょうだい児の交流する機会については、場所や職員の確保、安全上の問題等を考慮し今のところ予定はしていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月、「おたより」で行事予定や必要な連絡をお送りしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		・事業所で行事を開催していません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・マニュアルは職員間で話し合い共有しています。	・家族への周知は行えていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・毎月、「地震」「火災」「不審者」等に対する対応訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・現在アレルギー対応の必要な子どもはいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・遊具点検を週に一回行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		・非常時の避難場所の家族への周知は行えていません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・日々の支援の中で感じたヒヤリハットについては、都度報告共有するようにしています。又毎月のミーティング時にも振り返り検討するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・虐待防止委員会は年に一回、職員の研修は年に二回行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	4	・身体拘束等適正化のための指針に基づき、家族への説明、記録、報告等を行うことにしているが、現在身体拘束を行う対象児はいません。		